

# か6回大会を成功させ、10/11全力で三里塚へ



81.10.5  
No861

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
(鉄電)二九三五ノ六・公衆(電話)三三二七

全組合員の皆さん、むこう一年間の動労千葉の闘う方針を決定するカ六回定期大会が五日後に迫った。現下の戦争と反動攻撃が急ピッチに進む中で、「動労千葉がいかなる方針をうち出すのか」と権力・国鉄当局・動労「本部」反動分子は戦々競々とし、813闘争を通して更に強化された「三里塚を基軸

に闘う労働運動」に結集する闘う潮流は熱い期待とまなざしをもって注目している。カ六回大会の圧倒的成功をかちとり「反合・三里塚ジェット闘争を水路にした80年代に通用する自前の労働運動」路線の真価をかけ「一皮むけた動労千葉」として闘いの最前線にたたなければならぬ。

## 大会でかちとるべき課題は

**カ一に**、軍事大國化攻撃「激化の中にあつて、いまや政治焦点となつてい

線」を二大基軸に反合・運輸保安闘争路線の豊富化、と同時に一方の軸「新マル生」攻撃をうちとくべく体制を築くことである。

**カ二に**、軍事大國化に見もいうべき国鉄35万人体制攻撃を正しく見据え、これに屈服し35万人体制攻撃の水先案内人として積極的に担うまでに到った「本部」反動分子を追放し、全国の闘う仲間達と連帯して闘う。当面「検修民託」「木原

**カ三に**、「行政改革」―国鉄35万人体制粉碎・仲裁々定完全実施を目標にした秋季闘争を突破口に82春闘を「右翼労働統一粉碎春闘防衛、既得権はく奪粉碎・大巾賃上、三里塚二期決戦勝利」春闘として位置づけ、「赤字」攻撃うち破り階級闘争の原則にふまえた賃金闘争・取場闘争の防衛・再構築をかちとることである。

**カ四に**、以上の原則的闘いを通して、現在雪崩うつ、労働「統一」の名による労働運動の産業報国会化を粉

**カ六回大会**  
日時―10月9日、10日  
場所―千葉市厚生年金休暇センター  
10/11三里塚現地集会  
日時場所―10月11日正午、合田運動区三里塚北公園 集10時

千葉県労連カ28回定期大会が、10月2日、千葉市・市民会館で、代議員・傍聴者約三百名の参加で開催され、二年間の闘う方針を確認・決定した。

大会は10時に開会され、午前中、井原県労連議長の後継、評三島組織局長、社

の挨拶を受け、清水事務局長から運動方針案が提案された。午後、討論では、労働「統一」問題、政労支持

## 動労千葉から 木原線廃止反対闘争を 県労連 定期大会

ら、木原線廃止反対の

闘いについて動労千葉が地域住民と連帯

また、今日大会に

「月刊動労千葉」佳作入賞

問題等で討論がなされた。動労千葉からは布施副委員長以下四名の代議員が出席

対共闘会議」の結成を呼びかけ、多くの参加者の共感の拍手で迎えられた。

機関紙コンクール

「月刊動労千葉」佳作入賞